

新型コロナウイルスに負けない強いまちをつくろう

最初に…

中央ブロック地区社会福祉協議会は、富士川・春日・相生・新紺屋・朝日地区の5つの地区社協で構成されています。

中央ブロックプレスってなに？

中央ブロック地区社協の役員や福祉推進員等の皆さんに地域福祉活動についての様々な情報を提供するために発行します。プレスとは印刷物という意味があります。



令和2年度から中央ブロックは、地域福祉推進課の窪田が担当させていただきますので、一緒に地域福祉活動を進めましょう。

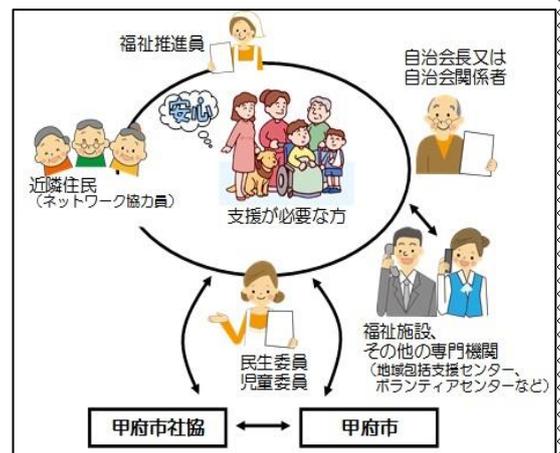
新型コロナウイルスとうまく付き合うために

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの社会・経済活動が停滞し、高齢者等の孤立、長引く休校による子どもの心身への影響、減収や失業による生活困窮などの新たな課題が発生しており、私たちの当たり前であった『ふだんの暮らし』が失われつつあります。

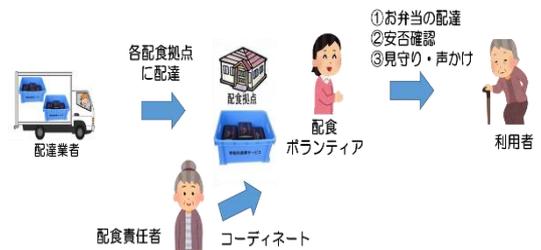
しかし、この状況にあっても、つながりが途切れることなく、お互いの暮らしを気にかけて、支え合いを進めていかなければなりません。

感染予防を徹底すればするほど、『見守り』、『居場所づくり』、『つながり』が進まない、といった課題を感じる人が多いと思います。

皆さんと共に進める地域福祉活動は“こうすれば絶対にうまくいく”ということばかりではありません。これからは感染防止対策をする中で“出来ること”を“できる方法”で進めていく必要があります。



【小地域ネットワーク活動】



【配食サービス事業】

◇地域福祉活動を安心安全に行うための注意点

1 健康管理の徹底

平熱を超えていたり、軽度であっても咳などの風邪症状がある場合は、活動を控えましょう。

2 手洗い・手指の消毒

活動前、活動中、活動の後は、手洗いと消毒液での手指消毒を徹底しましょう。（タオルは共用しないようご注意ください。）

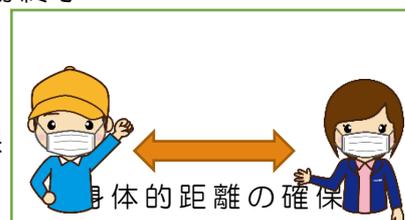
3 マスクの着用

活動中は原則としてマスクの着用を徹底しましょう。運動を伴う場合は、互いに距離を保って、運動中のみ外し、運動終了後には着用しましょう。



4 接触しない対人距離の確保 ★心の距離はぐっと近づけて

原則2m（最低でも1m）の接触しない対人距離を確保しましょう。



5 連絡先情報の把握

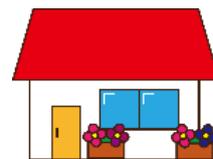
感染者が発生した際に追跡が出来るよう ①誰と ②いつ ③どこで ④どのように接したか を記録しましょう。

◇このような時だからゆるやかな見守りを進めましょう！！

ゆるやかな見守りってなに？

行き過ぎた見守りは、監視のように感じられてしまうかもしれませんが、ゆるやかな見守りは、毎日の生活の中で「いつもと違う」「おかしいな」と感じた場合に声をかけをしたり、関係機関に相談したりする「さりげない見守り活動」です。

近所に出かけた際などに、「郵便受けに新聞がたまっている」「夜になっても部屋の明かりがつかない」などの異変がないか少し気にかけるだけでも、それは立派な活動です。あいさつをするなどの日頃からのコミュニケーションもゆるやかな見守り活動の一つと言えます。



あれ？
おかしいな

**「ゆるやかに見守りつなかり続ける」一人ひとりができることを
少しずつしていこう！！**

発行：社会福祉法人 甲府市社会福祉協議会 地域福祉推進課 地域福祉推進担当
中央ブロック担当 窪田敏一

住所：甲府市相生二丁目 17-1 甲府市役所南庁舎 1号館 3階
連絡先：055-225-2118